

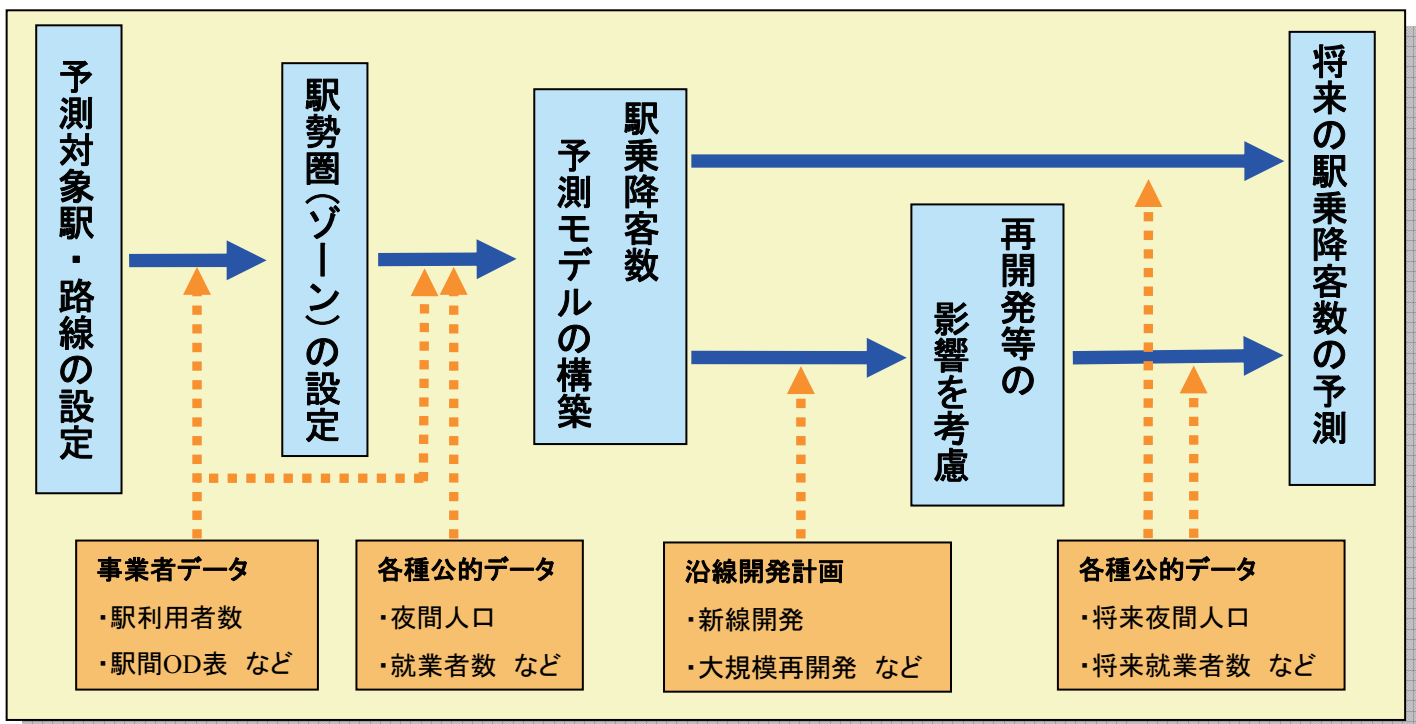
駅勢圏内人口や就業者数を考慮した駅乗降客数の予測法

【概要】

駅勢圏を予測単位とした、駅の乗降客数の予測手法を開発しました。従来の手法と比較して、短期間で予測をおこなえ、大都市圏のような密集地域でも、効率的に駅の乗降客数の予測をおこなうことができます。

【特徴】

- ・路線や駅をピックアップして予測をおこなうことができます。
- ・利用実態に即した駅勢圏を設定して、沿線の状況などを正確に反映した予測をおこなうことができます。
- ・ゾーンを駅勢圏とすることで、従来の予測手法と比較して作業量を大幅に減少させることができます。
- ・各種の公的データや事業者データなどを利用することで、毎年度の駅乗降客数の予測ができます。
- ・将来の再開発等による需要の変化も詳細に考慮した予測ができます。



【用途】

- ・車両増備や駅など施設改善の基礎資料となることが期待されます。
- ・将来の事業計画の基礎資料となることが期待されます。

モデルケースを用いた乗降客数予測シミュレーション

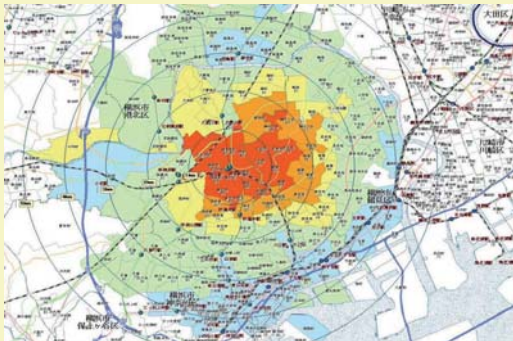
A駅: 沿線に大型集客施設が開業予定 (t+1年度)

B駅: 今後は沿線で多くのマンションが建設される予定

C駅: 利用者数は続伸しているが、今後沿線で開発等はない

駅の乗降客数予測モデル

駅勢圏の設定

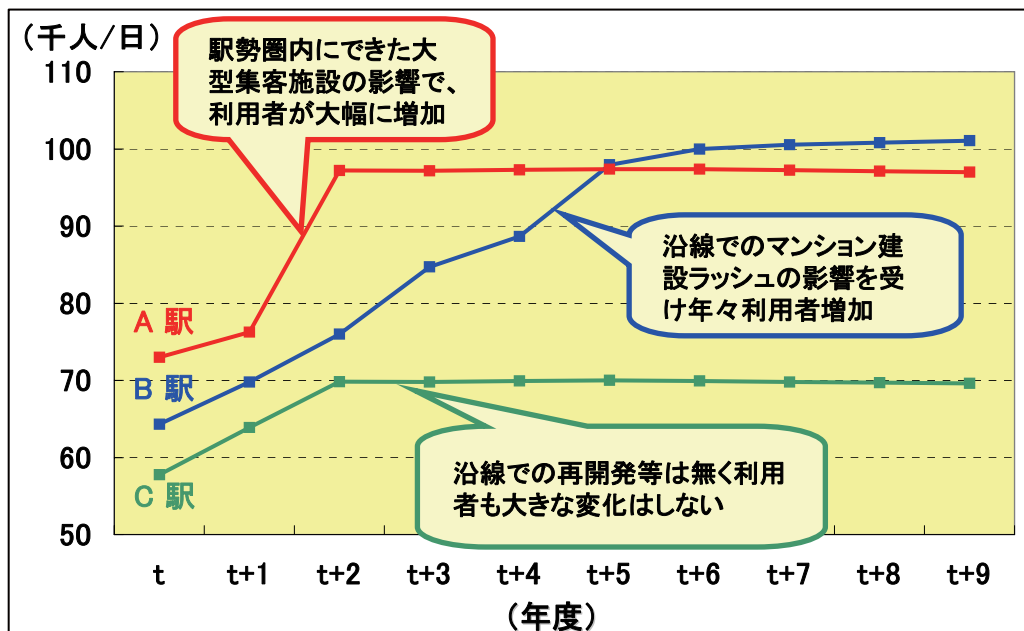


町丁目単位で
分析対象駅の利用率を設定

各種データ

- ◆ 公的データ
 - ・ 夜間人口
 - ・ 就業者数
 - ・ 将来人口予測値 など
- ◆ 事業者データ
 - ・ 駅乗降客数
 - ・ 駅間OD表 など
- ◆ その他
 - ・ 再開発計画 など

対象路線3駅の駅乗降客数の予測結果



特許出願中